



山梨大学 新技術情報クラブ



～ インフォメーション ～ 2016/09/15



【第 28-11 号】

本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ
最新情報をお知らせする目的で配信しております。

メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。



メールマガジン 目次

- 01： 公募情報 (2件)
- 02： イベント案内 (3件)
- 03： 大学トピックス (4件)
- 04： 「新技術情報クラブ」イベント (1件)
- 05： 特許出願情報 (2件)



01: 公募情報 (2件)



(1)平成 28 年産業振興事業費補助金

(ダイナミックやまなしイノベーション研究開発補助金) 第二次募集のご案内

山梨県では、県内のものづくり産業の活性化を図るため、産業振興事業費補助金の第二次募集を行います。今後成長が期待される産業分野への進出を促進し、経営革新や業種転換を進める中小企業の研究開発を支援することにより、本県産業の高度化と競争力の高い産業集積の形成を図ることを目的としています。

また、本年度からは、新たに国立研究開発法人産業技術総合研究所との共同による研究開発に対して、特別枠を設け、産学官連携による研究開発を促進していきます。

○今後成長が期待される産業分野の定義

- ・クリーンエネルギー
- ・超精密・超微細高機能部品、複合素材・環境素材
- ・生産機器及び生産システム
- ・医療機器、介護機器、生活支援ロボット

○補助対象事業名

- ・産総研連携研究開発事業

補助限度額 100 万円以上 2000 万円以内

補助率 2/3 以内（産総研への研究開発委託費は 10/10）

- ・成長分野中核技術研究開発事業

補助限度額 100 万円以上 2000 万円以内

補助率 2/3 以内

- ・ものづくり基盤技術研究開発事業

補助限度額 100 万円以上 500 万円以内

補助率 1/2 以内

○募集期間

第二次募集：

平成 28 年 8 月 29 日（月曜日）～平成 28 年 9 月 30 日（金曜日）

☆詳しくは下記 URL のリンク先をご覧ください。

<http://www.pref.yamanashi.jp/shinjigyo/kenkyukaihatsu/sangyoshinko.html>

【お問合せ先】

山梨県産業労働部

新事業・経営革新支援課

新分野進出担当

TEL：055-223-1565

(2) (財)三菱 UFJ 技術育成財団

平成 28 年度 研究開発助成金（第 2 回）公募開始

三菱 UFJ 技術育成財団は昭和 58 年の設立以来、技術指向型の中小企業の育成を通じて、我が国産業の発展並びに中小企業の経営高度化に貢献することを目的とした公益財団法人です。

当財団では、毎年、上記目的を達成する事業の一環として、新製品、新技術の研究開発に対する助成事業を行っており、第 2 回公募を 9 月 1 日より 10 月 31 日まで行います。

また、当財団の助成金交付・債務保証を受けた中小企業の更なる成長をご支援するために株式保有事業も行っております。企業の成長に対応して、助成金交付に加え株主となることにより、従来以上に長期的にご支援してまいります。

皆様の新規性に富み、意欲的なプロジェクトでのご応募をお待ちしております。

【助成金】

■対象企業・プロジェクト

- ・新技術、新製品等の研究開発を行う、設立・創業後もしくは新規事業進出後 5 年以内の中小企業または個人事業者。
- ・現在の技術水準から見て新規性のある機械、システム、製品等の開発で、原則として、2 年以内に事業化が可能なプロジェクト。

■助成金額

助成金として、次のいずれか少ないほうの金額を交付致します。

- ・1 プロジェクトにつき 3 百万円以内。
- ・研究開発対象費用の 1/2 以下。

■公募期間

9 月 1 日～10 月 31 日

【株式保有】

■対象企業

- ・当財団の助成金交付・債務保証を過去に受けた中小企業
- ・当財団の助成金交付・債務保証を受けた際のプロジェクトによる新製品、新技術の開発及び事業化により成長が見込める者。

■保有額

- ・1 社につき 5 百万円以内。ただし、対象企業の議決権の過半数を超えない金額

■公募期間

- ・随時受け付けます

ご参考 URL <http://www.mutech.or.jp/>



■ 02 : イベント案内 (3件)



(1) 「TPP 協定における繊維分野の合意内容と J ∞ QUALITY 認証制度
に関する説明会」のご案内

山梨県富士工業技術センターでは、山梨県絹人繊維物工業組合と共催で、繊維関連分野に関わる最新情報等説明会を以下のとおり開催いたします。

◆日 時 : 平成28年9月28日水曜日 13時30分～16時

◆場 所 : 富士工業技術センター 2階講堂
(富士吉田市下吉田6-16-2)

◆内 容 :

第1部『TPP協定・繊維分野の大筋合意について』13時30分～14時30分

経済産業省 製造産業局 生活製品課

課長補佐 石引 裕貴男 氏

昨年10月5日、環太平洋パートナーシップ (TPP) 交渉が大筋合意に達し、本年2月4日署名に至りました。TPPにより、日本を含む参加国12カ国の経済規模はGDP28兆ドル、世界の4割を占める巨大な自由貿易経済圏となります。今回、TPPへの理解を深めて頂き、活用を促進するため、繊維分野の合意内容とルールについてご説明いただきます。

第2部『J ∞ QUALITY認証制度について』14時40分～16時

繊維産業流通構造改革推進協議会 (繊維ファッションSCM推進協議会)

専務理事 阿部 旭 氏

J ∞ QUALITYとは、純正国産商品に対する新しい認証制度です。日本の技術力とクリエイティビティの素晴らしさを消費

者に伝えることを目的に、昨年1月日本ファッション産業協議会が立ち上げました。今回、1年経過した現在の状況から、認証制度の詳細等についてご説明いただきます。

◆ 参加費 : 無料

◆ 申し込み : FAX、メール、電話にてお申し込み下さい。

申込書に関しましては、以下のリンクをご参照下さい。

<http://www.pref.yamanashi.jp/shinchaku/kougyo-fj/2809/documents/annai0928.pdf>

【お問い合わせ】

山梨県富士工業技術センター

繊維部

担当 : 宮川・上垣

TEL:0555-22-2100 FAX:0555-23-6671

(2) 国際標準化の活用と海外認証取得セミナーのご案内

ジェトロ山梨、山梨県工業技術センター、富士工業技術センターでは、国際標準化に関するセミナーを開催します。

「標準化」は、新しい技術や優れた商品を国内外市場に普及させるために極めて有効なビジネスツールです。

今回のセミナーでは、標準化とは何か、標準化を活用するメリットや重要性について解説、さらに、標準化を戦略的に活用することにより販路開拓に成功した中小企業から、その実体験をご紹介します。

また、海外市場への参入に際しては、製品によっては CE マークなどの海外認証取得が必要となる場合があります。経験豊富な専門家から海外進出で必要となる認証について、又、世界共通基準としてのマネジメントシステム規格の取得が社内の経営改善に貢献するなどのメリットについても解説します。

○日 時 : 平成 28 年 9 月 20 日 (火) 13:30~16:30

○場 所 : 山梨県工業技術センター 高度技術開発センター2F 共同研究エリア 3

○定 員：30名（申込受付順）

○参加費：無料

○申込方法

【1】ジェトロ・ウェブサイトからお申し込み：

下記 URL のイベント申し込みページからお申し込みください。

【2】FAX でのお申し込み：

下記 URL の案内書・申込書 Word ファイルをダウンロード、プリントアウトしていただき、

必要事項をご記入のうえ

ジェトロ山梨（FAX:055-244-1231）までお申し込み下さい。

締切：9月15日（木）

☆詳細・お申し込みに関しましては以下のリンクをご参照下さい。

<https://www.jetro.go.jp/events/yymn/75e8b79a2e50370a.html>

【お問い合わせ】

ジェトロ山梨貿易情報センター

担当：尾山、佐藤、名取

TEL：055-220-2324 FAX：055-244-1231

Mail:YMN@jetro.go.jp

(3) やまなし起業フォーラムのご案内

山梨県では、「やまなし企業フォーラム」にて、大人気アプリを提供する LINE（ライン）株式会社の元代表取締役社長 森川亮氏による講演会を開催します。

起業を志した理由、経験談、起業家への応援メッセージなど、森川氏から、起業を志す方や何かにチャレンジしたい方に向け、ご講演頂きます。

○日 時：平成 28 年 9 月 25 日（日）10：15～

○会 場：山梨学院短期大学 サザンタワー

○参加費：無料

○内 容：森川 亮 氏（C Channel 株式会社 代表取締役）による講演
なお、講演終了後（午後）は、同会場において、「Mt.Fuji イノベーションキャンプ 2016」
のビジネスプランコンテストが一般公開されますので、併せてのご参加が可能です。

○申込方法：下記リンク先チラシの参加申込書の必要事項を記入の上、e メール又は FAX
に

て、Mt. Fuji イノベーションキャンプ実行委員会事務局（TEL:055-220-3512 FAX:055-
220-3513 email:info@y-startup.org）までお申し込みください。

☆詳細・お申込書に関しましては、以下のリンクをご参照下さい。

<http://www.pref.yamanashi.jp/shinjigyo/h28kigyofuform.html>

【問い合わせ先】

山梨県 産業労働部
新事業・経営革新支援課
TEL：055-223-1544

□ ■

■ 03： 大学トピックス （4件）

□ ■

(1) 産官学連携による研究成果発表会・地域連携フォーラムを開催

平成 28 年 9 月 2 日（金）、山梨県立図書館において、平成 28 年度「やまなし産官連携
研

究交流事業」研究成果発表会・地域連携フォーラムを開催（主催：山梨県及び本学）、県
内企業・自治体関係者や本学教職員・学生等約 380 名が参加しました。

主催者を代表して平井敏男 県産業労働部長及び早川正幸 本学理事・副学長による開会
挨拶の後、橋本久義 政策研究大学院大学名誉教授・客員教授より「中小企業が減れば日

本経済が減じる」と題した基調講演をいただきました。

通商産業省入省後、世界 3,700 以上の中小企業・工場等を訪問した橋本教授は、そのご経
験・実績を踏まえ、現在の世界経済の情勢を解説し、特に中国経済の成長に対しては、日本は中小企業の強みである勤勉性や不況時の懸命な経営努力等を活かすべきとの考えが示されました。

ポスター発表においては、本学・県試験研究機関・企業等での研究技術・成果について全 68 テーマ毎に紹介し、また、県内経済団体や本学研究センター等による産学官連携コーナーや各種相談コーナーも設けられました。参加者はそれぞれのブース担当者の説明に聞き入り、活発に質問するなど有意義なイベントとなりました。

(2) 甲府市と「スパークリングワイン」開発を新たにスタートさせます。

甲府市と本学との共同研究による「スパークリングワイン」開発について、平成 28 年 8 月 31 日（水）、甲府市役所において、樋口雄一市長と研究代表者となる柳田藤寿 ワイン科学研究センター教授が共同記者会見を行いました。

これは、甲府市総合戦略に位置付けた「地域特性を活かした『稼ぐまち甲府』の創出」の推進の一環として、ワイン醸造を専門に研究する国内唯一の研究機関を有する本学との共同研究によりスパークリングワインを開発・商品化することで、ワイン産業における市の認知度向上や誘客等を目指すのが目的です。

会見で樋口市長は「包括的連携協定を締結している山梨大学の力をお借りして、開府 500 年という歴史的な節目を迎える機会に合わせた物語性を持たせる商品を開発し、新しい甲府ブランドを立ち上げたい」と地域活性化に向けた強い決意を述べました。

柳田教授は研究実施計画・方法を説明し、「お祝い事に欠かせない華やかなお酒と近年注目されつつあるスパークリングワインを市と開発することで、より多くの方に楽しんでいただき、さらに付加価値を高めて、甲府の発展に貢献したい」と熱く語りました。

研究では、市内で採取された酵母や栽培されたブドウを使用し、醸造・試験・評価等を経て、開府 500 年となる平成 31 年には商品化できることを目指しています。

(3) 第 18 回 山梨大学たべもの異文化交流会を開催

平成 28 年 8 月 25 日（木）、医学部キャンパス玉穂国際交流会館中庭において、恒例の「たべ

もの異文化交流会」を開催しました。

この交流会は、留学生と地域の交流活動を通じてお互いの信頼関係を築くとともに、食を通して異文化への理解を深めることを目的に毎年開催されているものです。

留学生は、ベトナムの「フォー（ライスヌードルの一種）」や中国の「餃子」、「小籠包」、「可樂鶏翅（手羽先のコーラ煮）」、「緑豆湯（緑豆のスープ）」といった郷土料理を振る舞い、母国の文化を紹介しました。

また、山梨中央ロータリークラブなどの地元ボランティア団体から、抹茶やところてん、なす田楽、のり巻きずしなどの日本の味をご提供いただき、本学教職員も焼きそばやかき氷など、お祭りには欠かせない食べ物でもてなしました。

さらに、ボランティア団体によるダンス披露、餅つき、スイカ割り、盆踊りも行われ、会場は大いに盛り上がりました。

当日は地域の方々や留学生、本学教職員等、約 300 人が参加し、各国の料理を堪能しながらひとときの異文化交流を楽しみました。

(4) 平成 28 年度公開講座「県民コミュニティーカレッジ」が開講

平成 28 年 8 月 23 日（火）、甲府キャンパスにおいて、平成 28 年度本学公開講座「県民コミ

ユニティーカレッジ」が開講されました。

この公開講座は、県内大学・短期大学と（特非）大学コンソーシアムやまなしの共催で平成19年度より実施しており、各大学・短大が毎年特色あるプログラムを提供しています。

今年度本学では、生命環境学部地域食物科学科の教員4名が「もっと知ろう！『やまなしの食・農・環境の魅力』」をテーマに全4回の講義を行います。

今回は第1回目として、久本雅嗣准教授が「ワインのおいしさの科学」と題し、ブドウ・ワインにおける生産・栽培・消費等の動向を分かりやすく解説し、ワインの外観（色調）・香り・味わいにそれぞれ関与する化学成分がテイastingに与える影響を説明しました。

□ ■

■ 04： 「新技術情報クラブ」イベント
第13回アカデミックサロン（10/7）のご案内

□ ■

既にご案内メールを差上げておりますが、第13回アカデミックサロンを10月7日（金）に開催致します。是非、ご参加をお願い致します。

< 第13回アカデミックサロンのご案内 >

（1） 日時：平成28年10月7日（金）

第1部 技術交流会 16：00-17：30

第2部 お弁当食事会 17：45-19：30

（2） 場所：甲府駅北口「CAFÉ 風土」2F

<http://koshuyumekouji.com/walk/009.html>

（3） 第1部 技術交流会の内容：

「機械やロボットを効率的に動かす」

- ・機械やロボットで生じる振動
- ・振動抑制の制御方法
- ・機械やロボットの操作支援技術
- ・応用分野と今後の課題

講師：山梨大学 工学域機械工学系 准教授 野田善之

(4) 費用

飲み物代 (第1部参加者) : 500円 (コーヒー他)

お弁当代 (第2部参加者) : 1,000円

(5) 申込方法

下のアドレス宛に、企業名/氏名/電話、1部2部のどれに参加するかを明記の上、メールでお申込み下さい。

renkei-as@yamanashi.ac.jp

■

■05 特許出願情報 (2件)

～山梨大学が出願した最新特許情報をご紹介します～

■

注) 特許出願情報についてはクラブ会員のみへの提供となっておりますので、本掲載では非公開とさせていただきます。

■

1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。

2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。
